

親中共の国ほど感染者も多い ウイルスから身を守る方法とは

2020年、中国共産党(以下、中共)の隠ぺいにより、中共ウイルス(武漢肺炎、新型コロナウイルス)は全世界に拡散し、計り知れない被害をもたらした。このウイルスは一見、無規則に拡散したかのように見える。しかしその感染経路や規模を分析すると、その標的が鮮明に浮かび上がってくる。中共ウイルスはまさに中共を標的としており、中共およびその取り巻きを淘汰するためにやってきたのだ。

中共は40年来、一貫して海外で経済的利益をエサにそのイデオロギーを輸出してきた。利益が目くらんだ国々・地域は中共との関係を深め、擁護すらしている。しかし、その利益には悪運も伴うとまでは気づかなかった。

ニューヨークでなぜ感染者が急増したのか

アメリカで感染が拡大したのは、中共を支援してきたことが原因だと考えられる。

1972年にニクソン大統領が中国を訪問した後、アメリカは政治、軍事、外交、経済、金融、教育、科学技術などの各分野で中共を支援してきた。特にアメリカが中国のWTO(世界貿易機関)入りを認め、国際市



場に参入させたことにより、西側諸国の巨万の富が中国に投資され、世界の工場としての地位を確立した。

ウォール街は長年にわたり中共に出資し、中共政権を延命させてきた。

ニューヨークに本部を置く国連も中共に浸透されている。中共ウイルスの感染が発生した後、WHO(世界保健機関)のテドロス事務局長は感染状況を隠ぺいし、誤った情報を発信し、各国政府を翻弄した。

こうして、ニューヨークは中共ウイルスのターゲットとなった。

親中共の国では軒並み感染拡大

イランやスペイン、イタリア、イギリス、フランス、ドイツなどヨーロッパ各国もコロナの泥沼にはまり、大きな損失を被っている。これらの国々には一つの共通点がある。それ

は中共と親密な関係を築いたことだ。

台湾の状況

中国周辺に位置しながらも、台湾の感染状況は明らかにコントロールされている。その違いは中共に対する態度にほかならない。

台湾市民は中共の邪悪さを認識し、ノーを突きつけている。

台湾では外出禁止もなければ、経済の停滞もない。それでも感染者数は低く抑えられている。台湾の成功は、中共を信用せず、中共に買収されたWHOに盲従しなかったためだ。

台湾の状況は、中共ウイルスが引き起こした大災難から身を守る成功事例となった。

中国共産党を批判し、感染を防ごう

中国国外で感染が拡大して

いる国はいずれも、中共に歩み寄り、中共を支援してきた。

もし不幸にも感染してしまった場合、心を込めて「中国共産党という悪魔を打倒せよ」と唱えてみてほしい。奇跡が訪れるかもしれない。

様々な理由で、一部の人はこの問題を受け入れることも、直視することも難しいかもしれない。しかし、人類の健康に対する関心と責任感から、われわれは真相を解き明かし、より多くの命を中共ウイルスから救いたいと考えている。善良な人々が早くこの危機から脱するよう切に願っている。

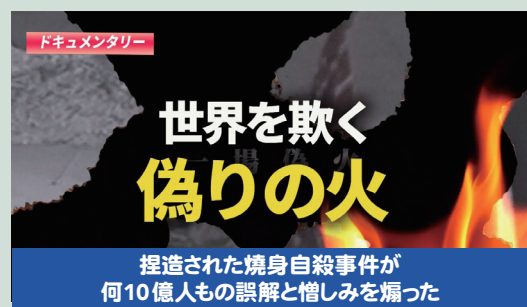
(大紀元エポック
タイムズ詳細につ
きましてQRコー
ドを読み取ってご
覧ください)



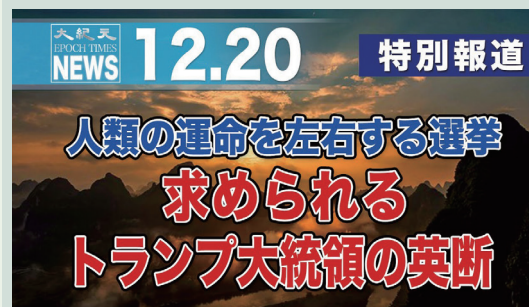
日本の皆様へ

この資料は、いま中国で起きている真相をお伝えするため、無料で配布しているものです。

これによる宣伝や勧誘などの意図は、全くございません。どうぞご安心の上、お読みください。



↓こちらのQRコードから動画をご視聴ください。



↓こちらのQRコードから動画をご視聴ください。



「中国臓器ビジネス」 伝えない日本メディア

心臓 10 日間で 4 つも提供された

名古屋に技能実習生として来日中に心臓病を患った中国人女性（24）が2020年6月13日、中国のチャーター便で武漢に渡った。「心臓外科の最先端の治療を提供する」武漢の病院で心臓移植を待つという。この出来事を、地元の中日新聞や東京新聞、NHK、フジテレビ「とくダネ!」などが取り上げている。しかし、これらのメディアの報道では、「短期間で患者が心臓移植を受けられる」という中国の事情や背景について伝えていない。

女性には、武漢協同病院に着いてからの10日間で3回も移植用心臓が提供されていた。しかも3回目は、同時に2つの心臓が提供されたという。人民日報の報道により、わずか10日間で4つの心臓が提供されたことが明らかとなった。

心臓移植手術までの待機時間は、日本なら通常3年以上である。

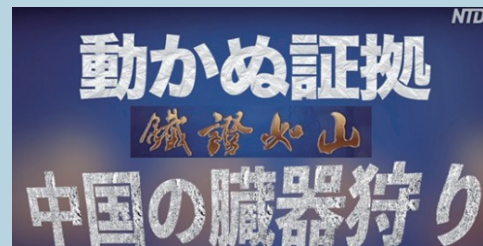
なぜ短期間で臓器移植が 受けられるのか

中国では、身体を傷つけないという伝統的な考えから、自由意志による臓器提供は非常に少ない。

共産主義犠牲者記念基金（VCMF）の2020年3月12日の報告書によれば、臓器提供希望者はごくわずかであり、移植手術件数と臓器提供数が一致していないという。

「死刑囚が移植用臓器の出所でないならば、調達された臓器は、良心の囚人から摘出されたものという説明が最も妥当だ」とVCMFは指摘した。

中国・北京青年日報は2020年3月1日、江蘇省無錫市で「世界で初めて新型コロナウイルス患者への両肺移植を成功させた」と伝えた。臓器はわずか5日で提供されたが、ドナー情報が少ないことから「新疆ウイグル人か、法輪功学習者か、香港抗議者か」などのうわさがネットで飛び交った。



↓こちらの
QRコード
から動画
を視聴
ください。



英 BBC 報道：移植手術 「1 カ月も待たなかった」

英 BBC ワールドニュースは2019年6月17日から2日間にわたり、中国の臓器強制摘出問題について報道した。番組では、2018年11月に北京の武装警察総合病院の内部を秘密裏に撮影した映像も報道された。

ある男性患者は尿毒症を患っていたが、1カ月も待たずに腎臓移植を受けられたという。費用は35万円（約500万円）。「その費用は高いのか？」と聞くと、その男性患者は「天津より安いだろう」と答えた。天津には中国最大の移植センター、天津市第一中心医院の東方臓器移植センターがある。

日本における腎臓移植の待機期間は平均で14年8カ月。米国でも数年は待たなければならない。中国ではわずか4週間。考えられない短さだ。2006年に臓器強制収奪問題を公にしたカナダのデービッド・マタス人権弁護士は共著で、拘束された数多くの人々が「生きた臓器バンク」として、需要に応じて臓器を摘出されていると分析している。

ロンドン民衆法廷は2019年6月、良心の囚人から強制収奪するという非人道的な中国の「臓器ビジネス」は相当な規模で行われ、現在も続いているとの最終裁定を下した。その最大規模の犠牲者は、法輪功学習者だという。

（大紀元から転載）

法輪功（ファルンゴン）とは

法輪功（ファルンゴン）は、法輪大法（ファルンダーファ）とも呼ばれ、1992年に李洪志先生によって伝えられた佛家修煉法です。「真・善・忍」に従って行動し、道徳を向上させながら自分の心性を修めます。煉功の動作は5式。シンプルで覚えやすく、ゆったりとした自然な動きで、身体を浄化します。全ての年齢層の方に適しており、心身の健康をもたらします。人種を問わず、世界で1億人以上の人々が修煉しています。

法輪功はなぜ迫害 されているのか

法輪功の教えは人々を魅了し、修煉者の数は激増しました。当時の江沢民元国家主席はこれに強く嫉妬し、自らの政権を揺るがす脅威と見なしたのです。「偽、悪、争」を信じ、無神論を唱える中国共産党にとって、法輪功の教える「真・善・忍」という宇宙の特性は、相容れないものでした。



中国では法輪功学習者に発言の自由はない（明慧ネット）

← QRコードからサイトを
ご覧ください。



大紀元

中国共産党を信じたら 命が危険だ

『共産党についての九つの論評』

歴史的教訓として、共産党のいかなる承諾も信じてはならない、共産党はいかなる約束も果たさない。共産党を信じたら、命の保証はないのだ。

『共産党についての九つの論評』より

←李登輝・台湾前総統が署名推薦
「共産党についての九つの論評」（大紀元）

新刊『悪魔が世界を統治している』

長い歴史の中で、人類は壮麗かつ輝かしい文明を築いたが、一方で幾多の悲劇と災難をも経験した。歴史を振り返ると、道徳は公正な政治、経済力、成熟した文化、国家の繁栄をもたらすことが分かる。一方、道徳が退廃すれば国家は衰退し、文明は壊滅する。

今日、人類は物質的な豊かさを享受しているが、一方で共産主義が起こした災難にも直面している。

博太書店：住所：東京都豊島区西池袋3-25-15 IB第一ビル6F B-2 TEL：03-6914-3843 FAX：03-6914-3853

